

様式第9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
嵐山町	嵐山町	平成23年度～平成27年度	平成23年度～平成27年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (平成 年度)	目標 (割合※1) (平成 年度) A	実績 (割合※1) (平成 年度) B	実績B/目標A※2
排出量				
事業系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
1事業所当たりの排出量	t	t (%)	t (%)	%
生活系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
1事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人 (%)	kg/人 (%)	%
合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t (%)	t (%)	%
再生利用量				
直接資源化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
総資源化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh
最終処分量	埋立最終処分量	t (%)	t (%)	t (%)

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載
(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成21年度)	目 標 (平成28年度) A	実 績 (平成28年度) B	実績B/目標A※3
総人口	18,990人	18,200人	17,952人	—
公共下水道				
汚水衛生処理人口	8,609人	10,638人	10,164人	95.5%
汚水衛生処理率	45.3 %	58.4 %	56.6 %	86.3 %
集落排水施設等				
汚水衛生処理人口				%
汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%	%
合併処理浄化槽等				
汚水衛生処理人口	3,882人	4,860人	4,410人	90.7%
汚水衛生処理率	20.4 %	26.7 %	24.6 %	66.7 %
未処理人口	汚水衛生未処理人口	6,499人	2,702人	3,378人
				125.0 %

※3 (実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載

(生活排水処理)

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、 再使用の 推進に関 するもの						
処理体制 の構築、 変更に関 するもの						
処理施設 の整備に 関するも の		浄化槽設置整備事業 浄化槽市町村整備推 進事業	嵐山町	生活排水対策を計画的に推進 するため、単独処理浄化槽、汲 取り便所から合併処理浄化槽 に転換を図る。	平成23年度(浄化 槽設置整備事業) 平成24年度～平 成27年度(浄化槽 市町村整備推進 事業)	浄化槽設置整備事業 平成23年度 1基 浄化槽市町村整備推進事業 平成24年度 139基 平成25年度 107基 平成26年度 62基 平成27年度 45基
施設整備 に係る計 画支援に 関するも の						
その他						

3 目標の達成状況に関する評価

汚水衛生処理人口は平成21年度実績の65.7%に対して平成28年度目標値の85.1%を下回り、平成28年度実績が81.2%で目標達成には至らなかった。

個別目標に対しては公共下水道と合併処理浄化槽も目標達成に至らなかったが、合併処理浄化槽は着実に普及している。また、未処理人口は、公共下水道や合併処理浄化槽等の着実な普及により大幅に減少している。

未達成の項目があるため、改善計画書を別添のとおり作成する。

(都道府県知事の所見)

(生活排水処理)

嵐山町は、公共下水道、合併処理浄化槽ともに目標達成には至らなかったものの、未処理人口を6,000人台から3000人台へと大きく改善させている。

また、汚水衛生処理率は15ポイント以上改善している。

町の人口が減少傾向にある中、市町村整備型を導入し、強力に合併浄化槽への転換を推進しており、着実に成果を上げている。

様式第 10

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
嵐山町	嵐山町	平成23年度～平成27年度	平成23年度～平成27年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現 状 (平成 年度)	目 標 (平成 年度) A	実 績 (平成 年度) B	実績B /目標A
排出量				
事業系 総排出量	t	t	t	%
1 事業所当たりの排出量	t	t	t	%
生活系 総排出量	t	t	t	%
1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	kg/人	%
合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	t	%
再生利用量				
直接資源化量	t	t	t	%
総資源化量	t	t	t	%
熱回収量	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	t	t	t	%

※目標未達成の指標のみを記載

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成21年度)	目 標 (平成28年度) A	実 績 (平成28年度) B	実績B /目標A
総人口	18,990人	18,200人	17,952人	—
公共下水道				
汚水衛生処理人口	8,609人	10,638人	10,164人	95.5%
汚水衛生処理率	45.3 %	58.4%	56.6%	86.3%
集落排水施設等				
汚水衛生処理人口				%
汚水衛生処理率	%	%	%	%
合併処理浄化槽等				
汚水衛生処理人口	3,882人	4,860人	4,410人	90.7%
汚水衛生処理率	20.4 %	26.7%	24.6%	66.7%
未処理人口	6,499人	2,702人	3,378人	125.0%

※目標未達成の指標のみを記載

2 目標が達成できなかった理由

平成23年度までは浄化槽設置整備事業を行い単独処理浄化槽使用世帯へ合併処理浄化槽への転換を促したが普及が進まなかった。
平成24年度より浄化槽市町村整備推進事業を行い当該事業開始年度から2年ほどは住民ニーズもあったことにより、効率的に合併処理浄化槽が普及していたが、3年目以降は事業開始時に当該事業利用希望者の合併処理浄化槽への転換入替が終了し、その後、当該事業の未利用者へ積極的な営業活動を行ったが事業に対する理解等が得られなかったことから計画全体を通してみると目標達成に至らなかった。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 32年度まで

未処理人口を確実に減少させるために、浄化槽台帳の精査を行い正確な情報の把握に努める。

次に、未処理世帯に対し、事業利用を促し、またホームページや広報誌で積極的な合併処理浄化槽への転換を呼びかけ、より一層の転換を進めていく。

(都道府県知事の所見)

嵐山町は、市町村整備型を導入したことにより、平成23年度の1基から平成24年度は139基へと大きく実績を伸ばしたことから、転換への並々ならぬ意欲の跡がみられ、成果を上げていると言える。

上記の方策をとることにより、汚水衛生処理人口の増加が図られることが期待できる。

埼玉県生活排水処理施設整備構想の実現に向け、一層の努力をお願いしたい。